



広島県
退職校長会

第 154 号

令和7年12月5日

令和7年度広島県教育委員会との教育懇話会 概要

令和8年1月14日（水）広島県教育委員会との「教育懇話会」を開催しました。

《出席者》

【広島県教育委員会】（8名）

乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与
教育センター所長（兼）個別最適な学び担当課長
義務教育指導課長
生涯学習課長（兼）乳幼児教育支援センター長
教職員課人事管理監
教育改革課主査
義務教育指導課企画調整係長
義務教育指導課主事

重 森 栄 理
蓮 浦 顕 達
松 尾 真 理
山 内 領 二
宮 田 展 也
水 本 貴 博
中 村 幸 子
森 木 結梨佳

【広島県退職校長会】（7名）

会 長 徳 永 正 夫
副 会 長 倉 田 秀 善
副 会 長 押 川 貞 生
会報委員長 松 浦 伸 二

事務局 長 鞆 井 誠 二
事務局次長 新 宅 敦 彦
会計幹事 秋 政 保 伸

1 開会あいさつ

はじめに、重森乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与が、次期学習指導要領の基本的な考えを示す『論点整理』には、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りする事ができる、民主的で持続可能な社会の作り手をみんなで育む」と書かれている事が紹介された。

県教委としては、主体的な学びを促す『学びの変革』を進めていることや今後5年間の方針を示す、新たな大綱の策定に向け準備を進めている事が話された。また、新たな大綱の注力する分野として、

- (1) 児童生徒の成長と発達を支える生徒指導
- (2) 持続発展する教育のための教員の育成
- (3) リアルな体験の充実とデジタル技術の効果的な活用

という3点を紹介された。

続いて、広島県退職校長会徳永会長が昨年10月の中国地区退職校長会連絡協議会広島大会にご出席いただいた教育長篠田智志様をはじめ、県教育委員会の皆様にお礼を述べた。そして、「価値観の多様化がいわれている中、今こそ失敗を恐れない子どもを育てる必要がある。」という主旨の挨拶があった。

2 今年度の協議題について

「教育懇話会」で協議したい内容について、県内20支部に事前にアンケート調査を実施し16支部から回答を得た。その結果、要望が多かった「教職員の待遇改善を通して、優秀な人材確保や必要定数確保の実現を図ること」「教職員の児童・生徒に対する性暴力防止（不祥事防止）への取組」を今回の協議題に設定した。

《協議題についての県教委よりの説明》

(1) 教員の待遇改善について

教員の働き方改革・業務改善については昨年給特法等改正法が成立して、各教育委員会に対して、「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定が義務づけられた。県教委は県立学校を対象とした計画を、市町教委には所管する市町立学校の計画を策定作業を進めている。県教委として、各市町教委が実効性のある計画を策定し、目標の達成に向けた取組が実施されるよう支援していく。

学校における働き方改革を進めるにあたり保護者・地域の理解・協力は不可欠と考え、県立学校については、保護者・地域向けのリーフレットを作成し配付している。今後、市町立学校に対しても同様の取組ができないか市町教委と連携しながら考えていく。

さらに、様々な業務をデジタル化して効率化を図る『校務支援システム』について、システムを統一化することで教員の負担軽減につなげるよう、県が調整役となり市町教委と連携し取り組んでいる。

(2) 優秀な人材の確保について

子どもの学びを支える教員は、公教育の要であり、教育課題の多様化・複雑化への対応やこれからの時代に必要な教育の実現のためには、教員を取り巻く環境を改善し、必要な教員を確保することが重要である。

令和5年度教員勤務実態調査によると、平成30年に実施した前回調査と比べ、教員全体の

在校等時間は減少しているものの、週あたりの時間外在校等時間が60時間以上の教諭等の割合が、中学校では40.3%、高校では26.2%となっている。依然として、長時間勤務の課題があり、教員の働きやすさと働きがいの両立を妨げる要因となっている。教員が力を最大限に発揮するため、学校における働き方改革と心理的安全確保の取組を進めている。

教員採用試験では、大学3年生等チャレンジ受験制度を導入し、教員志望の学生の受験機会を増やす『広島県教員スタートミーティング』を開催することで、広島県教員名簿登載者の不安を和らげ教員志望の仲間のつながりを作るなどして、教員志願者確保に向け取り組んでいる。



(3) 教職員の児童・生徒に対する性暴力防止（不祥事防止）について

教員の盗撮による逮捕事案が連続した事を踏まえ、「不祥事根絶に向けた緊急メッセージ」を発出し、取組を進めていたが、今年度も4件のわいせつ・セクハラ事案による懲戒処分が生起している事を重く受け止めている。昨年度は、若年層の処分事案が多かったため、今年度は初任者研修において、県警の協力を得て性犯罪やSNS等について研修した。また、県立学校管理職や各市町教委を対象に、子どもへの性加害に至るまでの原因や背景を学び、児童生徒の安全・安心を確保する校内体制の整備に向けた研修を実施した。教師が児童・生徒を盗撮し、画像などをSNS上の教師間のグループで共有し

逮捕された事案が生起した後、県教委として各市町教委に、「児童生徒性暴力等の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について」を通知した。この中で、盗撮防止のために、職員私物のスマートフォンやデジカメ等を用いての幼児児童生徒の写真や動画の撮影禁止を明記した県立学校長宛て通知を参考資料として送付している。

さらに、警察庁が作成した「児童生徒への性暴力防止のために」という資料を、各学校の研修で活用させている。

3 意見交換

退職校長会より

- ・学校に監視カメラを設置することで、性暴力は止まるのか。プライバシーの問題もある。犯罪が起きる前に、何とかできないものか。

県教委より

- ・過去不祥事を起こした者は、年休を多く取る傾向があったり、出勤する時間が遅くなったりと聞いた事がある。これらが異変に気づいたり見抜けたりする機会になるのではないか。

退職校長会より

- ・休憩時間に一緒に遊ぶなど、教員が子どもと接する時間を増やすべきではないか。
- ・私学の校長の経験があるが、私学は不祥事が経営危機につながる為、私学は公立より危機感を強く持っている。未然に防ぐため、小さな声を聞き取り、すぐに疑わしい教員に対応するなど動きが速い。
- ・学校現場で、児童生徒への性暴力が起きない、起こさせない緊張感と徹底した学校管理が必要である。
- ・非常勤で以前勤めた学校に出ているが、県教委などの様々な施策により、教員の業務改善が進み、教員にゆとりが出ているのを感じる。

県教委より

- ・不祥事防止対策を検討する中で、企業の方か

ら採用時に全てを見抜くのは難しいという意見をいただいた。みんなで話し合ったり、地域の人に入ってもらい風通しをよくしたりして、人の力で取り組んでいくことが大切である。

- ・現場の校長先生方も、課題意識を持ち教員が自分事ととらえるよう、研修を工夫されているが、それでも不祥事は起きる。カメラがペン型になるなど、昔と違って巧妙になってきている。これまでは、異常な性癖があっても行動に移せるだけの機器がなかったかもしれないが、今はハードルが下がっている。それをどう防ぐかは難しいが、校長研修等で各校の実践を交流しながら、共に考えていきたい。
- ・教員のつながりを作るという話があったが初任者研修では、取り組んでいることや悩んでいることを共有する場を毎回設け、意図的に初任者同士のつながりを作っている。

指導主事が各学校に出向いて指導・助言する機会はあるが、単に指導・助言という事ではなく、同じ位置に立って先生たちと一緒に何かを作り上げる、伴走型支援が大切と考える。



4 閉会あいさつ

重森乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与が、「この会を楽しみにしている。これからも先輩の校長先生方の意見を聞かせてもらう機会を大切にしていきたい。」と話されました。最後に徳永会長が、出席された広島県教育委員会の皆様に謝辞を述べ懇話会を終了しました。

敬 弔

次の方がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

(令和7年2月1日～令和8年1月31日)

◎西部支部

山岡 昭 様 7・3・18
平本 章直 様 7・4・2
北古 正治 様 7・4・17
中野 恵司 様 7・6・6
宇佐見妙子 様 7・10・11
三上 知昭 様 7・11・14

◎呉支部

井上 彰 様 7・3・17
高橋 努 様 7・6・24
岩木 達 様 7・9・15

◎安芸支部

渡邊 哲也 様 7・2・不詳
岡本 昭男 様 7・4・11
射場利久男 様 7・4・24
瀬尾 賢三 様 7・8・14
徳澤 昭生 様 7・10・31
梅田 健造 様 7・12・31

◎東広島支部

玉津 正幸 様 7・2・8
藤東 正典 様 7・5・30
山吉 幹枝 様 7・9・6
甲斐出倫敦 様 7・10・2
李木 義夫 様 7・11・17
吉田 勉三 様 7・12・8
高橋 太郎 様 7・1・10
梶原 俊明 様 8・1・23

◎山県支部

伊藤 隆 様 7・2・13
川本 龍磨 様 7・3・10
野地 正人 様 7・4・13
立川 勝治 様 7・11・26

◎安芸高田支部

枅川 良明 様 7・5・12
浅原 晃 様 7・8・2
新本 幸子 様 7・9・21
築地 昭二 様 8・1・26

◎竹原支部

藤岡 良壽 様 7・12・17

◎豊田支部

堀井 義範 様 7・6・20
塩田 博久 様 7・11・5
木原 延之 様 7・12・9

◎安浦・川尻支部

光原 恵造 様 7・3・11

◎三原支部

井上 俱子 様 7・7・22
井出 和好 様 8・1・6

◎尾道支部

上石田 勲 様 7・2・18
伊場 正三 様 7・3・18
稲角昭八郎 様 7・4・16
榎 修治 様 7・5・23
吉原 勲 様 7・7・3
塩谷 英三 様 7・7・17
山下 秀一 様 7・11・26
高橋 敏行 様 7・12・15

◎因島支部

青木 源三 様 不詳
柴田 一夫 様 7・10・不詳

◎沼隈・内海支部

馬屋原一孝 様 7・11・16
佐藤 成文 様 8・1・10

◎福山支部

小島 寛 様 7・3・22
岡本 廸子 様 7・4・21
檀上 一彦 様 7・7・26
藤井 豊子 様 7・8・15
三島 俊伸 様 7・9・21
富山 輝昭 様 7・10・20
佐藤 成一 様 7・11・17
高橋 延昌 様 7・12・16
野田 直樹 様 7・12・18
田中 賢三 様 7・12・22
池口 義人 様 7・12・27
岡崎雄志郎 様 8・1・21

◎府中・芦品支部

後藤 晋作 様 7・3・24
佐藤 恒男 様 7・8・19
小川 茂行 様 7・9・14
木下 正明 様 8・1・20

◎三次支部

有光 侃 様 7・4・21
政倉 弘彦 様 7・5・31
河島 万里 様 7・7・20
中島 申弐 様 7・10・31

◎庄原支部

小林 哲朗 様 7・3・15
森信 廣子 様 7・5・31
青木 妙子 様 7・7・29



支部情報

1 府中・芦品支部

支部活動近況報告

事務局長 小 川 光 男

本年度は、会員数55名でスタートしました。どこの支部も同様だと思いますが、若い層の加入が少なく、80歳以上が半数近くです。主な活動は総会と会食、年数回の理事会、便りの発行ですが、隔年ごとに「ふれあい作品展」と「研修旅行」を実施しています。昨年度は「ふれあい作品展」で、会員の絵画、写真、版画、工芸、研修報告書を展示、花の苗や種子の配布も行いました。

今年は「研修旅行」の順番でしたが、少人数の参加ではバス代の負担も大きくなるため、目的地は因島で送迎付きのホテルでの会食としました。因島に着くとまずミカン狩りを楽しみました。バスを降りてみると目の前の青いミカンの木が広がっていて少し心配になりましたが、食べてみると結構甘く一安心しました。

ホテルに昼前に到着。食事をしながら久々に会った顔もあるので自己紹介しながら近況を報告し合いました。談笑しながらおいしく食事をしました。行き帰りに他に2カ所立ち寄りしましたが、親睦という大きな目的は達成できたと思います。



2 沼隈・内海支部

支部の近況と活動状況について

幹事長 湯 木 徹

本支部の会員は現在24名、平均年齢78歳と高齢化が進んでいます。その様な現状の中、私が幹事長を引き受けた3年間の研修は、「会員の皆様が勤務していた地元の学校」で実施しました。1年目の総会・研修会は沼隈町3校、内海町3校の統合で新設された「想青学園」で実施しました。総会の後、学校見学・授業参観をさせて頂きました。また、秋の研修会は福山美術館でピカソ、シャガール等の作品鑑賞をする事ができました。

2年目はコロナ禍でストップしていた総会・研修会後の懇親会を地元内海町で実施する事ができ、時間が経つのも忘れるくらい賑やかな会になりました。また、秋の研修会は「常石 とともに学園」で、イエナプラン教育の授業参観と教育内容について説明をしていただきました。3年目は、地元沼隈町の割烹旅館を会場に、支部員の先生に東海道を歩いた体験を話していただき、その後の懇親会では賑やかに歓談しながら、美味しい料理、飲み物で楽しい時間を過ごしました。秋の研修会は、能登原小学校の跡地に開園した「子ども園 のとはら」を訪問し、園児の和太鼓や歌の発表を聞いたり、簡単なリズム遊びをしたりして童心に帰りました。どの会にも、



半数近くの会員に出席していただきました。

そして、今年は、旧内海中学校を利活用しているローズファイトースの現状と将来像を話していただくか、地元の山南小学校の学校見学をさせていただくかを思案中です。

会員の減少、高齢化、役員の選出等、大変厳しい現実がある中、昨年度の総会では、支部の解散や他支部への編入も視野に入れた資料を作成し説明をしました。歴史ある本支部の行く末を案じつつ筆をおきます。

《第2回常任理事会報告》

令和7年12月12日（金）、広島市青少年センターで開催しました。中国大会（広島大会）を開催した為、例年より1か月遅れの開催となりました。最初に、徳永会長より開会の挨拶がありました。中国大会での協力に謝意が表明されました。協議では最初に(1)前期事業報告 (2)会計報告について審議しました。今年度は、中国大会を開催した為、中国大会の反省と課題、一般会計と中国大会に伴う会計報告（定期を解約した為）の2点が報告され承認されました。その後、令和8年度は会報委員の改選に伴う会則、細則について提案がありました。



〈お詫びと訂正〉

153号「春秋の叙勲」の記事の中に記入漏れとお名前に誤りがありました。心からお詫びし訂正させていただきます。

○瑞宝双光章 おめでとうございます

春 令和7年4月29日

二見 吉康 様（山県支部）

○名前に誤りがあった先生

（誤）山本 雅昭 様（庄原支部）

（正）山本 雅照 様（庄原支部）

広島県退職校長会 会員数

支部名	会員数	支部名	会員数
西 部	131	三 原	132
広 島 市	3	尾 道	141
呉	88	因 島	42
安 芸	93	世 羅	42
東 広 島	218	沼隈・内海	26
山 県	91	福 山	301
安芸高田	92	府中・芦品	55
竹 原	40	神 石	26
豊 田	21	三 次	95
安浦・川尻	9	庄 原	105
(令和7年8月5日現在)		合 計	1751

編集後記

早、年度末を迎える頃となりました。

冬季オリンピックの興奮と感動が冷めやらぬ昨今ですが、昨夏のあの酷暑から一転しての厳冬、大雪。頻発する地震や山火事。冬眠しないのか、クマの出没ニュースにもすっかり慣らされてしまいました。この国の政局も、年初めから大きな動きがありました。一方、混とんとする世界情勢……。平穏で安寧な一年になりますよう祈ってやみません。

さて、会報第154号ができあがりました。こうして会員の皆様にお届けできることは、私たち役員一同にとって大きな喜びとするところです。予算削減のあおりを受け、今号は事務局サイドでの編集という新しい試みとなりました。

幸い、教育懇話会などの報告や各支部からの寄稿もあり、充実した内容として発行にこぎつけることができました。関係の皆様にご深く感謝申し上げます。

より有意義な紙面になりますようこれからも努めて参ります。ご意見はもちろん、個人としての詩歌はじめ文芸作品なども大歓迎です。奮ってお寄せください。

広島県退職校長会 会報第154号

発行 令和8年3月15日
広島県退職校長会
会長 徳 永 正 夫

事務局 〒731-5101
広島市佐伯区五月が丘
2丁目17番24号
TEL 082-941-2631

ホームページ
<https://taisyonu.org/>



E-mail seichan1724@yahoo.co.jp
印刷所 (株)デルタプリント
広島市南区大州2丁目12-15
TEL 082-281-7338